

平成23年度 第4回荒川地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成24年1月26日(木) 15:00~16:45
2. 開催場所 荒川支所 3階第1・2会議室
3. 出席委員 会田健次、松田昭平、田島 勉、片岡 弘、山田俊治郎、
石山忠一、小川 巖、石山 健、渡辺悦子、信田瑠美子
4. 欠席委員 山崎キイ子、鈴木 薫
5. 出席職員 平野荒川支所長、
荒川支所自治振興室；川崎室長、小川(智)副参事
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成23年度 第4回荒川地区地域審議会 会議次第

日 時：平成24年1月26日（木）15:00～

会 場：荒川支所 3階 第1・2会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1)(仮)定住の里づくりアクションプラン(素案)答申案について

4 そ の 他

5 閉 会

会議経過

1. 開会 (15:00)

事務局； ただいまから平成23年度第4回荒川地区地域審議会を開会します。開会にあたりまして当地域審議会の会長よりごあいさつをお願いします。

2. 会長あいさつ

会長； 新年あけましておめでとうございます。この冬最大の寒波が襲来しているようですが、寒い中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

当審議会も2期目が過ぎようとしております。この3月いっぱいであれわれの任期も終わりになるわけですが、まだまだ合併の効果が表に見えてこないというのが現状のように感じます。この審議会は今後も継続されるわけですが、今後の審議会にこの役割を期待したいと思います。

本日の議題は、市長から諮問されました「(仮)定住の里づくりアクションプラン(素案)」に対する答申についてであります。先般以来、いろいろとご意見をいただいております。今日の会議で内容をまとめ、2月15日に市長に答申をする予定になっておりますので、会議が円滑に進みますよう、ご協力をお願いいたします。

事務局； 続いて委員の欠席を報告します。本日はあらかわ婦人会の山崎委員、県立坂町病院長の鈴木委員が欠席となっておりますのでご報告いたします。

事務局からの連絡事項ですが、2月15日に5地区合同で答申書の提出を行う予定になっております。今後、5地区の答申書を取りまとめ、3月中には定住の里づくりアクションプランを成案化します。5月から後期実施計画の策定作業に入りますが、ここにみなさまからいただいた答申内容をできる限り反映させていただきます。

3. 議事

(1) (仮)定住の里づくりアクションプラン(素案)答申案について

事務局； それでは議事に入りますが、ここからは会長に議長をお願いし、会議を進めていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

会長； それでは、議事を進めます。定住の里づくりアクションプラン(素案)答申案についてであります。先般以来、みなさんに議論していただいている内容をもとに、まとまった部分について事務局に文書化してもらっています。この答申案の内容、また、一部できあがっていない部分もありますので、これから議論していただきたいと思います。それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局； 【答申案を朗読して説明】

会長； 答申案の空欄になっている部分で「暮らし応援プロジェクト」については、前回みなさんから意見が出なかったところです。「暮らし応援プロジェクト」には、公共交通や安全安心、環境保全関係の事項が上がっております。ほかの記載されている内容も含めて、ご意見等ありましたらお願いいたします。

委員； 今の公共交通体系の整備の取り組みは大変いいと思うのですが、一般的に需要があるとよりサービスの供給が増やせますが、逆に需要が少ないと本数が減って悪循環になります。

今は自家用車に頼っている人が多いと思いますが、高齢化が進むと、移動手段を持たない人がこれから増えてくると思います。十分な需要がないからといって、サービスを増やさないと、いつまでも利用者は増えません。

どちらが先かということですが、その辺が大きな課題になってくるのではないのでしょうか。

会長； 現時点では実証運行期間ですので、医療機関を主に支所などを目的地として運行しているようですが、買い物に使えるなど、利便性の向上を重点に考えていかなければならないと思います。

委員； 今、一人暮らしのお年寄りが増えていきます。スーパーが一つなくなったせいもあるのですが、足が悪いなどで買い物に困っているという声をよく耳にするようになりました。それで生協などの宅配利用が増えているのだと思いますが、地元にお金が落ちないということにもなります。お年寄りの場合は、そういう方向にならざるを得ないのかなという気がします。

委員； 私は公共交通の委員をさせてもらっていますが、最初の段階から買い物利用にも使えるようにしてほしいと言ってきましたが、当局では、第一段階として医療機関からスタートさせたいとのことでした。やる以上は失敗できないということで、現在はそのような形で進んでいます。

次の段階では、スーパー等も目的地に検討していくそうです。利用者も徐々に増えていっているようです。生協もいいのですが、やっぱりスーパーへ行って、多くの品物を見たいというのが心情ではないのでしょうか。

委員； 買い物の時に人と接することも大切なことで、特に一人暮らしの人は、そういうのも楽しみの一つとして買い物に行っているのだと思います。公共交通もできればそういう方向に進んでほしいです。

委員； 地元にお金を落としながら、利便性を高めていくべきです。

委員； 年々高齢化が進んでいきますので、まちなかであればバスをこまめに運行させるか、荒川地区のような場所はデマンドタクシーということになるかと思いますが、今の限られた運行内容では、不満がかなりあるようです。前日予約の問題や今ほどのみなさんの意見など、次の公共交通の会議で要望していきたいと思います。

会長； 当審議会としては、最大限利便性の向上を図るということはこの記述の中に付け加えていくということによろしいのでしょうか。

委員； そのことによって、地元商業の活性化につながるわけですから、いいと思います。

会長； 公共交通のほか、「暮らし応援プロジェクト」の中で意見等ありますか。

委員； 防災関係で、今後ハザードマップの見直しがなされると思いますが、ちなみに東北の震災のような津波が来た場合、この地区ではどの辺まで来るのでしょうか。

- 会 長； 高さでいったら、この地区の平場の部分はほとんど被ってしまいます。荒川支所でも海拔10メートル位だと思います。
- 事 務 局； この地区は一級河川荒川がありますので、川を上って堤防を越水してくることが考えられます。
- 委 員； 私は南三陸町へ実際行ってきたのですが、被ったところを見るとかなり高い場所でした。
- 委 員； 現地の状況をこの荒川地区に当てはめると、荒島区付近位まで何もなくなるのではないかと思います。貝附区、花立区あたりの高台の住宅が残るような感じですか。
- 委 員； 避難の仕方によって、助かったところとそうでなかったところがあったようです。海の近くの新しい小学校がめちゃくちゃになっていたのですが、すぐ近くの山にあった神社に避難させて、子どもたちはみんな無事だったそうです。
- 会 長； 防災計画については現在、市で見直しをしているわけですし、自主防災組織については、当地区はかなり進んでいます。改めてどうすべきだという部分はないかと思うのですが、ほかにみなさんから意見等ありますか。
- 委 員； 先ほどの公共交通の件ですが、新潟交通のバスに対しての補助金額なども勘案して、総合的に考えてほしいと思います。
- 委 員； ほかの自治体の例ですが、加茂市、三条市のほうでは、公共交通の見直しによって市の補助額が3,000万円位削減できたような例もあります。
- 委 員； 今後のスーパー出店の話も聞こえてきますし、利用率等を見ながら対応していくべきだと思います。
- 委 員； 公共交通の取り組みについては、昨年やっと説明会をしたばかりで、自分の集落では、地域の茶の間のみなさんに聞いてもらっただけですので、今の利用率だけを見て判断することはできないと思います。
- 今後、住民への周知を推進しながら、路線バスを減らすことと同時に進めていく必要があるのではないのでしょうか。
- 委 員； 誰でも乗れるようにする方向で進めば、もっと利用率も上がります。
- 委 員； 買い物利用に対する要望があるという話ですが、要望を全部聞いていたら大変なことだと思います。
- 例えば、以前農協がやっていた「ひまわり号」のような移動販売車を考えたら、人との接触もあるので、それも方法の一つだと思います。
- 買い物については、人それぞれのペースや目的が違いますので、デマンドの目的から外して、別の方法で進めたほうがいいのではないのでしょうか。先ほど話が出た生協のようなものを荒川地区の商店街でやることを考えてもいいのではないのでしょうか。
- 会 長； ある程度の利便性をという意見はあるのですが、どこもかしこもということでは確かに大変です。
- 委 員； 理想的には、停留所が決まっていて定時運行がされている形が一番いいのですが、今やっているものを検証しながら、発展させる形で利便性を高めていくべきだと思います。

- 委員； いずれにしても、公共交通の必要性があることは確かです。これから先、どういう利便性があれば利用率が高まるかを考えていかなければならないと思います。
- 委員； 一歩ずつ徐々に改善して行って、よりよい公共交通を実現していければと思います。全てのニーズには応えられないかもしれませんが、7～8割までいけば御の字かと思います。
- 会長； ほかに何か意見はありますか。
- 委員； 新エネルギーの導入について、福島県では放射能の関係で補償の話が出ています。使えなくなった土地に、大規模に太陽光パネルなどを設置したと考えるのですが、荒川地区でも以前、風力発電を検討したことがあったのですが、導入には至らなかったわけです。
- 委員； 石炭火力発電も環境にはすごくよくなっただけです。
岩船港には5,000トン級の船が入ることができるらしいので、それを利用して石炭火力発電をしてみるのが近道なのではないかと思います。
- 委員； 嫁婿対策などはいかがでしょう。市ではやっているのでしょうか。
- 事務局； 一部の地区ではやっていますが、市全体では取り組んでいません。
- 委員； 清流荒川を活かしながら、イベントをやっていく中で嫁婿対策もやっていくのもいいかも知れません。
- 委員； 今はランニングを出会いの場にしていくのが流行っているようで、ただイベントだけでは難しいようです。
- 会長； 釣りをしながら婚活という話がテレビで出ていました。釣りは性格が出るのでそういう場として適しているのだそうです。
- 事務局； 嫁婿対策は最終的にはプライバシーも関係してきますので、行政がどこまで立ち入っているのか、難しい部分もあります。
- 会長； ほかに意見等ありませんか。
それでは、各プロジェクトの審議にあたって、総合的に付け加える要素などありましたら、前文に入れたいと思いますがいかがですか。
- 事務局； 今、特に出ないようであれば、前回の会議の意見も合わせて、「暮らし応援プロジェクト」と前文に文章を加えたものをまとめて、それをまたご審議いただくと思いますがいかがでしょう。
- 会長； そのようにしてください。
では、暫時休憩します。

【休憩】

- 会長； それでは会議を再開します。
事務局から答申案に前文と「暮らし応援プロジェクト」の部分を加えたものを配付してもらいましたので、これについて説明をお願いします。
- 事務局； 【答申案に加えた部分について朗読し説明】
- 会長； ただ今の答申書の案について、みなさんからご意見等ありますか。

- 委員； 答申案の中で「方向性に問題ありません」という文章が3回出てくるのですが、これは入れなくてもいいような気がします。
- 委員； 独立した各プロジェクトの方向性がそれぞれあるわけですので、これは入っていてもいいのではないですか。
- 委員； 事前送付された案と会議録を読み合わせてみたのですが、よくまとまっていると思います。
- 会長； それでは、この内容で来たる2月15日、副会長と一緒に市長に答申してまいります。よろしいでしょうか。
- 一 同； 異議なし。
- 会長； ありがとうございます。それでは、議題の(1)については以上で終了します。

4. その他

- 会長； その他として何かありますか。事務局から連絡事項等ありましたらお願いします。
- 事務局； この地域審議会は合併市町村基本計画期間の平成29年度まで設置することとされています。市では、平成24年度から平成25年度の2年を任期とする委嘱をすることになりますが、みなさまにまたお願いすることもあるかと思いますが、その際はよろしくお願いします。
- 来年度、市長から諮問される予定は現在ありませんので、合併基本計画登載事業の進捗についてというのが中心的な議題になるかと思えます。
- 後期実施計画を作成する中で、合併基本計画に関係してくるものも出てくることも考えられますので、その辺をじっくり見ていただくよう進めていきたいと思っております。来年度以降もぜひご助言いただければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
- 会長； ほかにみなさんから何かありませんか。
- なければ、その他については以上で終了し、今日の会議を閉会したいと思います。
- 事務局； 長時間にわたりまして慎重審議いただき、ありがとうございました。以上を持ちまして平成23年度第4回地域審議会を終了いたします。大変お疲れ様でした。

5. 閉会(16:45)